

平成23年度

橋梁技術発表会及び講演会

— 鋼橋技術の進化と継承 —

参加費無料
定員250名
申込先着順

平成23年

日時 11 / 25 (金) 13:00~16:55

会場 福岡商工会議所 会議室301号

〒812-8505 福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28
Tel.092-441-1116

13:00~13:10

開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会
副会長・専務理事 中島 威夫

13:10~13:40

橋建協報告

東日本大震災 被害調査報告
東日本大震災復興対策本部

第1部:技術発表会

13:40~14:20

1.東京ゲートブリッジの工事報告

—側径間トラスの大型起重機船3隻
相吊りによる大ブロック一括架設—
技術委員会 架設小委員会 小玉 芳文

14:20~15:00

2.支承部の損傷と対策事例

—経年劣化から地震による被害まで—
保全委員会 保全技術小委員会 湯本 大祐

15:00~15:10

休憩

15:10~15:50

3.海外における鋼床版橋梁の疲労に関する現状

—デッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷について—
技術委員会 鋼床版小委員会 平山 繁幸

第2部:特別講演会

15:50~16:50

1.鋼道路橋の腐食損傷に対する対策の課題と研究開発の方向性

九州大学大学院 工学研究室
建設デザイン部門
准教授 貝沼 重信



16:50~16:55

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

申込方法

- ①Fax. 092-475-6255(裏面の用紙に記載)
- ②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は9月下旬から)

申込期限

平成23年11月11日(金)

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒810-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19
(KS・T駅東ビル)横河ブリッジ内 Tel. 092-475-6255

継続教育

CPDS認定予定

※東京地区は 10月14日(金) 銀座プロッサムホール
大阪地区は 10月28日(金) ドーンセンター
東北地区は 11月 8日(火) 仙台国際センター
中部地区は 11月15日(火) 東建ホール・丸の内 開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードするようお願いします。

アクセス



- 福岡市営地下鉄祇園駅(5番出口)より 徒歩約5分
- JR博多駅下車、博多口より 徒歩約10分
- 祇園町バス停より 徒歩約5分
- 福岡空港より 地下鉄利用 空港線乗車祇園駅まで 約7分
タクシー利用 約20分

1 東京ゲートブリッジの工事報告

—側径間トラスの大型起重機船3隻相吊による大ブロック一括架設—

東京ゲートブリッジは東京湾の主航路である東京東航路上に位置し、その主橋梁部である3径間連続トラス・ボックス複合橋の側径間トラスは、日本最大の起重機船3隻相吊(4100t吊+3700t吊×2隻)により大ブロック一括架設されました。FC3隻相吊は過去に3例しかなく、16年前に行った実績しかありません。このFC3隻相吊による大ブロック一括架設の要領、GPSや加速度計等を用いてIT活用して構築した「FC3隻相吊作業管理システム」によるFC作業管理について報告します。

2 支承部の損傷と対策事例

—経年劣化から地震による被害まで—

橋梁の支承は、上・下部構造の接点で上部構造の荷重を円滑に下部構造に伝え、構造物全体の機能を発揮させ、安全性を確保する上で重要な役割を果たすものです。しかし、常時、移動・回転を繰り返す過酷な部材である上に桁端の狭隘な箇所に位置し、また地震の影響を大きく受けるため、最も損傷例が多い箇所でもあります。

本報告では、橋梁の安全性の鍵を握る支承について、経年劣化から地震による被害まで、その損傷および対策事例を紹介します。

3 海外における鋼床版橋梁の疲労に関する現状

—デッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷について—

重交通路線に位置する国内の鋼床版橋梁において疲労損傷が発生し、種々の補修・補強対策が施されています。近年、鋼床版小委員会では海外の鋼床版にも目を向け、2008年に鋼床版会議(Orthotropic Bridge Conference)、2010年に日独橋梁シンポジウムへ参加しました。さらに、デッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労に関しては、2005年にオランダにおけるデッキプレート貫通き裂、本年4月にはイギリスにおけるビード貫通き裂の現況調査を実施しています。ここでは、これらの調査結果を元に、海外におけるデッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷の現状について報告します。

特別講演会

1 鋼道路橋の腐食損傷に対する対策の
課題と研究開発の方向性

貝沼 重信

九州大学大学院
工学研究室
建設デザイン部門 准教授

—略歴—

1968年 愛知県生まれ
1992年 法政大学工学部土木工学科卒業
1994年 法政大学工学研究科
建設工学専攻修士課程修了
1994年 名古屋大学 助手
工学部土木工学科
1999年 博士(工学)(名古屋大学)学位取得
2001年 岐阜大学 助教授
工学部社会基盤工学科
2003年 岐阜大学 助教授
総合情報メディアセンター
2004年 九州大学 准教授
大学院工学研究院建設デザイン部門

—研究分野—

鋼構造学、維持管理工学

—所属学協会—

土木学会、日本鋼構造協会、腐食防食協会、
溶接学会、非破壊検査協会、
九州橋梁・構造工学研究会

—受賞—

2001年 土木学会
構造工学シンポジウム論文賞
2006年 土木学会 田中賞(論文部門)

講演概要

最近、維持管理レベルが比較的高い鋼道路橋においても人命に関わる致命的な腐食損傷が報告されている。この致命的損傷を回避するためには、従来の過不及な維持管理手法を抜本的に改善することが求められる。しかしながら、腐食損傷に対する点検・検査、損傷の経時予測・評価や対策に関する技術が十分に開発されていない状況にある。

本講演では、鋼道路橋の腐食損傷とその対策の課題を例示しながら紹介する。また、これらの課題を解決するために必要とされる維持管理技術に関して、現在実施している研究開発を中心に紹介する。

FAX番号:092-475-6255

平成23年度

橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 無